

会 議 録

会議の名称	平成 26 年度第 5 回茨木市文化振興施策推進委員会 文化振興ビジョン策定専門部会
開催日時	平成 26 年 12 月 19 日（金） （午前・ 午後 ） 1 時 00 分 開会 （午前・ 午後 ） 1 時 30 分 閉会
開催場所	市役所南館 8 階 中会議室
議 長	出口 正之（国立民族学博物館民族文化研究部教授）
出 席 者	森 隆男（関西大学文学部教授）、木村 光佑（茨木市美術協会会長）、 松本 雅裕（公益財団法人茨木市文化振興財団理事長）、山野 寿（一般 社団法人茨木市観光協会会長）、栗本 智代（大阪ガス株式会社エネ ルギー・文化研究所主席研究員）、安藝 しのぶ（公募市民）、後藤 恵子 （公募市民） 木本 保平（市長）【8 人】
欠 席 者	【0 人】
事務局職員	大西 稔（市民文化部長）、原田 茂樹（市民文化部理事）、小田 佐衣子 （市民文化部副理事兼文化振興課長）、庄田 哲也（文化振興課長代理）、 辻田 新一（文化振興課主幹）、戸田 佑也（三菱 UFJ リサーチ&コンサル ティング株式会社）【6 人】
開催形態	公開 ／非公開
議題（案件）	○茨木市文化振興ビジョン答申について
配布資料	(1) 次第 (2) 配席図【資料 1】 (3) 茨木市文化振興ビジョンについて（答申） (4) 茨木市文化振興ビジョン（案） （参考）茨木市歌

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1. 開会 本日は公私何かとお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 ただいまより、茨木市文化振興施策推進委員会文化振興ビジョン策定専門部会を開催する。
委員長	2. 茨木市文化振興ビジョン答申について それでは、会議次第に従って議事を進めさせていただきます。 本日の会議はお伝えしている通り、文化振興ビジョンについて答申させていただきます。 まずは本日の委員の出席状況を事務局から報告していただく。
事務局	会議については、委員会規則第6条第2項により、委員総数の2分の1以上の出席がなければ会議を開くことができないが、本日は8名の委員が出席されているため、会議は有効に成立している。
委員長	本日の会議についても公開とする。また、会議録及び会議資料についても公開とする。傍聴者がおられれば、ご入室いただいて結構である。 (傍聴者入室)
委員長	それでは、本日の案件に入る。事務局からどうぞ。
事務局	11月4日から12月5日に実施しましたパブリックコメント結果と文化振興ビジョン答申案については委員に事前にご確認をいただいている。
委員長	事務局の説明通り、答申案とパブリックコメントの結果は事前にお送りして、皆様からの意見を頂戴の上、本日に至っている。 5月21日から4回にわたり審議してきた茨木市文化振興ビジョン案については、全ての審議を終え、お手元に配布している。今回は5回目になるが、お配りしている答申書（写し）の通り答申する。
事務局	それでは、茨木市文化振興ビジョン案を出口委員長から木本市長に答申していただく。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	【出口 正之委員長より答申書を読み上げ、木本市長に手交】 3. 市長あいさつ 事務局 ありがとうございます。ここで木本市長からあいさつをいただく。 市長 お礼を兼ねてご挨拶させていただく。茨木市文化振興ビジョンに対する答申をいただき、ありがとうございます。出口委員長はじめ、各委員の皆様にはご多用の中、去る5月から長期間にわたりまして熱心にご審議を賜り、本日答申いただいたこと、心からお礼申し上げる。文化芸術振興は、まちを活性化させ、コミュニティを育み、市民活動に豊かさをもたらすものである。いただいたご答申の主旨を尊重して、地域の文化を大切にしながら、市民の誰もが気軽に文化・芸術を楽しめる機会を整え、「みんなの楽しいが見つかる文化のまち」の実現に向けて取り組んでいく。これからも、皆様のご協力、ご指導よろしくお願い申し上げます。 年末に向けて何かと慌ただしくなるが、委員の皆様には健康に留意され、今後のより一層のご活躍を祈念し、お礼のご挨拶とさせていただきます。 4. 委員長あいさつ等 事務局 本日をもって委員会は終了となるので、委員から感想等いただきたい。 委員 今回の答申を受けて非常に感慨深いものがある。 新しい芸術・文化に加えて、伝統文化を活かしたまちづくりが、これから行われると思っている。私は伝統文化の重要性を、様々な場で述べている。いばらき童子を取り上げても、ここへの道中「いばらき童子まんじゅう」というものがあつた。伝説が新しい食文化に転化し、新しい文化を創出していることを実感して、今後の茨木市の可能性を感じた。茨木市がますます発展することを祈念する。 委員 先日、京都の哲学の道を歩いた。ごみ一つ落ちておらず、水も清らかに流れており、雰囲気が「哲学の道」に合っていた。文化というものも、市が文化振興に取り組むと同時に、市民の文化に対する意識が盛り上がれば、自然と発展していくものと思う。 今後とも市長に茨木市をよくするために頑張っていただきたいと思っている。よろしくお願いいたします。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	一市民として参加させていただいた。私事であるが、茨木市文化振興財団にお世話になっている。今後もよろしくお願いしたい。
委員	私自身が知らなかった茨木を知ることができ、興味を持つきっかけになった。自分で茨木市を面白くしていけるのではないかと考えている。私は演劇に携わっているので、演劇の力を使いながら、茨木市の文化発展に関わりたい。今後もよろしくお願いしたい。
委員	非常に有意義な会議であった。図らずも総合計画も作られ、芸術文化のビジョンも同時に出されたということで、確立するために、財源的にも人的にもぜひよろしくお願いしたい。
委員	この専門部会で「みんなの楽しいが見つかる文化のまち」ということの深さを感じている。 文化振興によって心が豊かになるのか、心が豊かにならないと文化は振興されないのか。一人ひとりの心を豊かにし、文化を鑑賞したいという思いを喚起していく必要がある。我々も頑張っていくので、ぜひよろしくお願いしたい。
委員	今回はじめて茨木市の文化振興ビジョン作成に関わらせていただいた。非常に勉強になり、興味を持つことができた。貴重な機会を与えていただき感謝する。 これまで茨木市はどうしても通りすぎるまちであり、関心を寄せていなかったが、気をつけて見るようになった。 まさに、まちが変わろうとしている節目で委員にお招きしていただき、よかったと感じている。まちの地域文化を掘り起こしてみんなに楽しく伝えるという活動をしているので、今後変わっていく中で力になれることがあれば、声を掛けていただきたい。ありがとうございました。
委員長	この度、答申となったのは、委員のみなさまのお力によるものである。強調しておきたいのは、本日も傍聴で1名いらっしゃるが、すべての会議で傍聴者がマナーよく参加されていた。また、事務局も努力いただき、会議経過も市のホームページで適宜公開しており、パブリックコメントもいただいている。こうして考えるとビジョンはみんなの力で作ったものと言える。 2つコメントしたい点がある。ひとつは文化芸術振興基本法の前文を見ると、「文化芸術は平和に寄与するものである」と述べている。これは立法

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	者の議員の思いが入ったものであると言える。もう一点、「立命館いばらきフューチャープラザ」がオープンするタイミングで出来ることにある。こうした贅沢な都市というのは日本でも少ないのではないかと思う。 第1回専門部会の時、市庁舎前の茨木市歌の碑で見た歌詞について触れた。今、お手元に茨木市歌をお配りしているが、これが鳥肌が立つものである。2番に「平和羽ばたく」であるとか、「学びの窓に」といった表現がある。今の茨木市の状況を指し示すものになっている。こうした市の歌があるまちで文化の振興に関われたことをありがたく思う。ありがとうございました。 5. 閉会 ありがとうございます。 策定に向けた今後の予定だが、本日答申いただいた茨木市文化振興ビジョン案については、答申の内容を十分に尊重し、庁内において意思決定をしていく。長期間にわたりご審議いただいたが、文化振興ビジョンの専門部会は、本日をもって終了となる。出口委員長をはじめ委員の皆様にお礼申しあげる。 今後とも、茨木市の文化振興に格別のご高配を頂ければと思う。ありがとうございました。 以上